

プレミックスタイプ 乾式吹付け用 断面修復モルタル材

「なおしタル TM-dry」

「NAOSHITARU TM-dry」

「なおしタルTM-dry」は、プレミックスタイプの乾式吹付け用断面修復モルタル材です。圧送後、吹付けガンの手前で水を供給することで品質の高いモルタルを作ることができます。専用の吹付けガンを用いることで粉じんを低減でき、200m以上の長距離圧送性、1回の吹付け厚さ100mm以上の厚付け性を実現します。その性能を発揮することで、長距離圧送を必要とする橋梁、トンネル、栈橋等のコンクリート構造物の断面修復に活用することができます。

特 長

1. 200m以上の長距離圧送が可能です。
2. 1回で100mm以上の厚付け施工ができます。
3. 吹付け後、金ゴテによる左官仕上げが可能です。
4. 耐久性に優れ、初期、長期においてひび割れ抵抗性に優れています。

用 途

- 50mを超える圧送が必要となる、橋梁、栈橋、トンネル、水路(暗渠)等コンクリート構造物の補修
- 法面、法枠の補修

仕 様

1袋あたりの練上り量			1㎡あたりの使用量	
なおしタル TM-dry (kg)	設計水量※ ¹ (kg)	練上り量 (ℓ)	なおしタル TM-dry (kg)	設計水量※ ¹ (kg)
25	3.4 (3.1～3.7)	約13	1950kg (25kg×78袋)	266

※¹ 設計水量は、理論上の設計水量です。使用水量は施工時に流量計の数値で確認する必要があります。



専用乾式用吹付けガン



ロータリー式乾式吹付け機

施工方法

1. 施工する面は必ず粗面処理を行い、完全に粉分、油分等を除去し、水湿またはプライマーを用いて下地吸水調整をしてください。
2. 剥落防止対策は、施主・設計の指示に従い行ってください。
3. 鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行ったのち施工してください。
4. 必ず、試し吹きを行い、粉体の吐出量、添加水量等を決定することを推奨します。
5. 施工後は必ず適切な養生を行ってください。まれに施工後数時間で表面に乾燥ひび割れが発生する場合があります。皮膜養生剤等を用いて対策をしてください。

性能 物性試験例

水量 (製品×%)	練上り温度 (°C)	圧縮強度 (N/mm ²)	静弾性係数 (KN/mm ²)	付着強度 (N/mm ²)	凍結融解 (%)	長さ変化
		28日	28日	28日	300サイクル	28日
13.6	22	50.3	30.0	2.12	88	-477×10 ⁻⁶

※1 物性試験値例は、品質を保証するものではありません。

圧縮試験： JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法 養生条件：月雰囲気養生 コア供試体

静弾性係数： JIS A 1149 コンクリートの静弾性試験方法 養生条件：月雰囲気養生 コア供試体

付着強度： JSCE-K 561 5.8 付着強度による 300×300×60mmJIS 平板使用、表面目荒し後、t=20mm 吹付け施工

凍結融解： JIS A 1148 コンクリートの凍結融解試験方法 養生条件：月雰囲気養生 切り出し試験体

長さ変化： JIS A 1129 モルタルおよびコンクリートの長さ試験方法 養生条件：月雰囲気養生 切り出し試験体

包装形態

25kg 入 防湿袋

使用上の注意事項

1. 使用前に、必ず、安全データシートを読み、取扱う。
2. 練混ぜ水量は、環境温度、施工部位、施工方法により決定する。
また、市販の無収縮グラウト材に比べて、硬く見えるので注意する。
3. 本製品を使用するときは、飲食・喫煙をしないこと。
4. 取扱い後は、手を良く洗うこと。
5. 保護手袋・保護メガネ・防塵マスクを着用すること。
6. 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
7. 眼に入った場合は、水道水で15分以上洗うこと。コンタクトレンズを着用して、容易に外せる場合は外す。
8. 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合は、水道水で洗浄すること。
9. 発疹が生じた場合は、医師の診察、手当を受けること。
10. 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
11. 保管は、直射日光を避け、湿気のない室内に保管すること。
12. 内容物、容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

なおしタル工法研究会



株式会社ニューテック

〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9

TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687

<http://www.kknewtech.co.jp/> E-mail info@kknewtech.co.jp